

## 授業科目 生理学実習 I

【担当教員名】 宮岡 洋三、川上 心也	対象学年	1	対象学科	理学（前半）・作業
	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	◎
【概要】 本科目では、「感覚機能、運動機能、心臓・循環機能、呼吸機能、消化機能」について実験的に学ぶ。基礎資料（教科書と生理学サイト、下記）からの情報収集、自分自身や友達を対象とした実験、そして採取したデータの適切な取りまとめを通して生体機能の理解を深める。  実験項目は「二点弁別閾値の測定、重量弁別の実験、肺活量・1秒率の測定、血圧の測定、心電図（ECG）の記録・解析、表面筋電図（EMG）の記録、唾液分泌量の測定」であり、実施の順序はサイト上（後述）に公開する。				
【学習目標】 1. 本学の「生理学サイト（ <a href="http://physiol-nuhw.sblo.jp/">http://physiol-nuhw.sblo.jp/</a> ）」にアクセスし、実習資料を入手できる 2. 入手した実習資料を基に、実験遂行に必要な知識を整理できる（必要に応じて、図書館などで参考図書に当たり、資料を適宜加工できる） 3. 実習に参加して、学習項目に関する有効なデータを採取できる 4. 採取したデータを基に実験結果をまとめ、その生理学的な意味を考察できる 5. まとめたデータへの検討を通して、自分や友達の結果・考察に対してコメントできる				
回数	授業計画・学習の主題		SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	実習ガイダンス - 1			実習、担当：宮岡 洋三 他
2	実習ガイダンス - 2			実習、担当：宮岡 洋三 他
3	実験項目 - 1、2			実習、担当：宮岡 洋三 他
4	実験項目 - 1、2			実習、担当：宮岡 洋三 他
5	実験項目 - 1、2			実習、担当：宮岡 洋三 他
6	実験項目 - 3、4			実習、担当：宮岡 洋三 他
7	実験項目 - 3、4			実習、担当：宮岡 洋三 他
8	実験項目 - 3、4			実習、担当：宮岡 洋三 他
9	実験項目 - 5、6			実習、担当：宮岡 洋三 他
10	実験項目 - 5、6			実習、担当：宮岡 洋三 他
11	実験項目 - 5、6			実習、担当：宮岡 洋三 他
12	実験項目 - 7、8			実習、担当：宮岡 洋三 他
13	実験項目 - 7、8			実習、担当：宮岡 洋三 他
14	実験項目 - 7、8			実習、担当：宮岡 洋三 他
15	課題要旨の講評（主として実験項目 - 5～8の内容）			実習、担当：宮岡 洋三 他
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	生理学テキスト（第6版）	大地 陸男	文光堂	2010・4,800円＋税
参考書				
その他の資料	「生理学サイト」( <a href="http://physiol-nuhw.sblo.jp/">http://physiol-nuhw.sblo.jp/</a> )			
【評価方法】 成績は「出席」、「課題要旨」ならびに「期末試験」の合計点で評価する（とくに「課題要旨」を重視する）。	【履修上の留意点】 実習室ならびに実習用具の制約から、上記の「授業計画」にある項目順序が変更になる場合もあるので、予め承知しておいて欲しい。  ノート・パソコンは、毎回の実習で必ず持参する。  「課題要旨」の作成に当たって、先輩や友人のもののコピー＆ペーストなど不正行為があった場合には、本科目の「不合格」を含めた厳しい対応があり得るので呉々も注意する。  なお、客観性と公平性の確保が困難な「実習態度」は評価の対象としないが、明らかに他人の迷惑となっている場合には、退室を求めることがある。			